

九州のなかま

2009 - 10

秋闘情報: NO. 10

発行日 : 2009年12月16日(水)

発行者 : 生協労連 九州地連

生協労連第 89 回中央委員会

職場が元気になる回答を求めて…!

12月9日(水)13:00~10日(木)12:00、東京・大崎南部労政会館にて生協労連第89回中央委員会が開催されました。情勢学習では、「2010年春闘をどう闘うか、情勢と労働組合の役割」と題し、全労連事務局次長の井上久さんによる講演がありました。講演では、「今日の政治情勢をどうみるか、情勢の新的特徴は財界との綱引き、運動こそが流れを決める。長引く不況と深刻な国民生活においては、大企業中心から国民本位の政治・経済への転換、働くルールの確立と雇用創出・地域経済の再生を」と現状について、続いて2010年春闘の5つの重点課題と取り組みについて述べられました。「解雇、失業に反対し、「雇用守れ、仕事よこせの運動」に取り組む。生計費原則にもとづく賃金、所得の確保をめざし、統一闘争に取り組む。(最賃闘争は年明けから開始) ナショナル・ミニマム、社会保障の整備・拡充を求めて取り組む。組織拡大運動を旺盛に取り組む。2010年5月、6月を核兵器廃絶、憲法守れ集中行動期間として取り組む。2010年春闘は、私達の生活と日本の未来を左右する春闘、こんなに楽しい春闘はない、闘えば変えられる。共同を広げ、社会運動を起こそう」と語られました。



主催者挨拶をする中野さん



議長の下地さん(おきなわ)



かごしまの中山さん



かごしまの福丸さん



エフコープの石橋さん



みやざきの前田さん

議案提案・報告では、渡辺書記次長より2009年秋季年末闘争の経過報告、盛本書記次長より秋の組織拡大月間の到達点と春の月間に向けて、北口副委員長2010年春闘方針(四役案)の提案が、鈴木書記長より第6次中期計画第1次案の報告がありました。エフの石橋さん、みやざきの前田さんが単組の取り組みについて、またかごしまの福丸さんは労連パート部会の取り組みについて発言しました。

2009年秋季年末闘争は、経営状況も労働条件も改善されない状況が続くなかで、いかに職場が元気になる環境をつくるか、どうやって今の困難を全職員一つになって打開していくか、生協の今後の事業と運動の展望を職場に示せるかが、問われた秋闘でした。一時金闘争では、労働者のくらしの困難さが増すなかで、前年確保以上をめざし交渉がすすめられました。生協経営の厳しさから、前年月数マイナスの回答が相次ぎました。しかし、職場のモチベーションやモラル低下、ものの言えない職場状況が指摘されるなかで、職場運営や働き方の問題にこだわり、改善の方向性を示させたこと、労働条件における前進回答、非正規労働者の処遇改善、厳しい状況下でも一時金の前年実績もしくはそれに近い回答、更には前年を上回る回答や、2次回答、3次回答までも引き出すことができました。職場の声を集め「職場に展望を」と、理事会に迫った交渉は2010年春闘における新たな運動と要求実現につながる可能性を広げた秋闘でした。

お願い: 2009年秋闘関連の取組み 他の情報を地連まで FAX: 092-947-9193